

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐーなっつ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		2026/1/17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の発達課題を踏まえ た多彩な活動の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が満足して活動することができるように、子どもが自ら選んで決めた活動をすることができるようにしています。</li> <li>遊びを通して友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わうことができるように時間や空間を保障するとともに、支援者が共に活動しながらメンバー構成や話題などに配慮しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの興味関心を満足できる活動を提供することができるよう、教材研究や支援者の資質向上に努めます。</li> </ul>
2	ニーズに応じた保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のニーズを踏まえ外部講師を招いての学習会を行ったり、ペアレントメンターさんを招いてのグループ研修や個別相談会などを開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの年齢が上がるに連れ、将来に向けての学びや連携の必要性が高まってきているので様々な地域資源とのつながりを意識し情報提供できるようにしていきたいと思います。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と連携した事業所運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちのニーズに合う地域の施設や環境を開拓することが不十分だったと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域にある様々な施設（児童館、地区センター図書館、民間のスクールなど）の情報を集めどのような場が子どもの生活を豊かにするために活用できるのかを探り、連携していきたいと思います。</li> </ul>
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぐーなっつ (放課後等デイサービス)

公表日 2026年 3月 19日

利用児童数 15名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0	・交通機関を利用した外出や、いろいろな公園に行ったり、屋内の活動においても多彩な活動内容だと思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	0	3	1		・地域の公園やヒミドリなどの公共の場では一緒に遊ぶなどの日常的なかかわりはありますが、施設同士の交流ということは現在できていません。どのような方法があるか探していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	0	0	・親子行事等で他の保護者さんとお話する機会があり、とても良いと思います。 ・色々なイベントがあって楽しめている。	・今年はクマの出没のため芋ほりや里山体験ができませんでした。安全が確認できれば行ってみたいと思います。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1	・小さなケガでも丁寧に説明して下さりとても安心です。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	1	0	0	・子ども親も安心して通所しています。 ・行き渋りはあり。	・お子さんが安心して通所するために大切なのは楽しい活動の保障だと考えています。一人一人のニーズや興味関心をとらえ満足できる活動を提供できるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	0	0	・毎回楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	・大変満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぐーなっつ (放課後等デイサービス)				公表日	2026年3月19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	一人一人の興味関心に基づいた活動が保障できるように工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	個室やパーティションが有効に活用できていると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	11	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0		・保護者アンケートや自己評価は行っていますが、第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	法人内研修、外部の研究会への参加、研修会の事例提供などを積極的に行い、多職種の方々の意見を聞くなど学び続ける機会がもてるようにしています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ホームページに支援プログラムを分かり易い形で載せています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	パート職員も含む支援者全員で共通理解して支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	初回来所時のアセスメント、日々の行動観察と記録を用いて確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・活動内容については一人一人の興味関心に基づき、専門的支援の内容などを踏まえて正職員だけでなくパート職員にもねらいや前回までの経過を伝えた上で療育を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・日々の活動は個別のプログラムである大好きな時間と、集団のプログラムであるみんなの時間を適切に行うように努めています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	また、記録は丁寧に取るようにし、その日の療育を振り返っての課題や、一人一人の成長が分かり易いようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	11	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	11	・開所から間がないので、まだそのような事実はないです。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	0	・児童館、公園、COミドリなどの施設で出会った子供たちと同じ場で遊びながら日常的に交流をもっています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	保護者のニーズに応じ、外部講師も招いての保護者向けの研修会を行っています。ペアレントメンターさんに来ていただいた際のグループ懇談や個別相談会を開催しました。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	11	0	父母の会の支援、兄弟児同士の交流はそれのみを目的としては行っていないが、餅つき会や遠足などで家族同士が交流することもできていると思います。	今年度はクマによる危険を回避するため、芋ほりや里山体験が中止になってしまった。安全を確保できたら継続していきたいです。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		頻度が落ちているので改善していくようにします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	ゴスペルイベントなどで地域の方に来所していただき交流することができました。	地域に開かれた子育てサロンなどは行っていませんので、今後検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	緊急時対応マニュアルを保護者に配布した。災害発生時の避難訓練は定期的にいろいろな状況を想定し行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の安全確保、虐待、身体拘束、アレルギー対応等については年度初めにパート職員やドライバーも含め研修を行い、全職員に周知するようにしています。</li> <li>・今年度から緊急連絡先届を整備し、迅速に対応できるようにしました。</li> </ul>	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0		